

平成二九年度 兵庫県丹波地域合同防災訓練実施!

自衛隊、消防など約70機関、約1,400人が参加



毒劇物の漏れへの対応 (篠山メイン会場)



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

あなたなら
無事故の着地
決められる!

平成二九年九月三日(日)、丹波地域合同防災訓練を実施しました。県では毎年、地域の市町と共催した合同訓練を実施しています。なお、訓練の詳細については、次のとおりです。

訓練の特徴

- (一) 災害時要援護者にかかる避難、福祉避難所等運営
- 災害時要援護者の個別支援計画に基づく避難訓練への参加
- 特別養護老人ホーム「丹寿荘」などでの福祉避難所設置運営訓練
- JMAT(日本医師会災害医療チーム)による避難所内の救護所運営訓練
- (二) 多様な手段による情報収集
- ドローンによる被害状況のリアルタイム配信
- 携帯型通信端末による現場画像のリアルタイム配信
- (三) 協定締結に基づく新たな機関の訓練参加
- ヤマト運輸(株)による避難所物資搬送訓練
- 兵庫県栄養士会による災害時における栄養・食生活活動支援
- 福知山市による府県を超えた応援訓練(大丹波連携推進協議会※)
- ※京都府四市一町(福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町)と兵庫県二市(篠山市、丹波市)における災害時等広域防災体制(平成二六年五月八日締結)
- (四) 若年層の防災訓練への参画



モトクロスバイクによる被害状況調査 (篠山メイン会場)

- 篠山鳳鳴高校放送部員による訓練進行に係るアウンス
- 地元高校生による炊出し等へのボランティア参加

目的

御所谷断層を震源とする直下型大規模地震の発生を想定し、関係機関・団体・自主防災組織等が相互に連携した実動訓練に加え、災害時要援護者支援に重点をおいた住民参加型訓練を実施する。官民一体となった実践的訓練を実施することにより、防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資する。

実施場所

実動訓練Ⅱ篠山城跡三の丸広場(篠山市会場・メイン会場)、篠山小学校、スポーツピアいちじま(丹波市会場)

訓練想定

御所谷断層地震(マグニチュード七・三、最大震度六強)

重点訓練内容

- (一) 実動訓練
- 被害状況(上空)調査訓練
- 道路啓開訓練
- 救出救助(倒壊家屋、車両)訓練
- 救護所設置運営訓練(DMAT)
- 負傷者広域搬送訓練
- ヘリコプター救出救助訓練
- 孤立者救助訓練



炊き出し訓練 (篠山メイン会場)

(二)

- 災害時要援護者支援訓練
- 災害時要援護者避難訓練
- ※福祉避難所までの避難及び福祉施設入居者による避難訓練
- ※個別支援計画に基づく避難訓練
- 福祉避難所(福祉避難スペース)開設・運営訓練
- (三) 避難所開設・運営訓練
- 救急災害医療訓練(JMAT)
- 避難所物資搬送訓練
- ペット同行避難訓練
- ボランティアセンター設置運営訓練
- 炊き出し訓練
- (四) 広域物資搬送訓練
- 広域防災拠点からの物資搬送訓練

- (四) 広域物資搬送訓練
- 広域防災拠点からの物資搬送訓練

- 民間事業者による避難所までの物資搬送訓練
- 隣接府県(京都府福知山市)からの応援受入訓練
- (五) その他
- 地震の揺れ体験(起震車)、煙避難体験、災害対応車両等展示、展示ブース(室内安全対策他)

主催

平成二九年度兵庫県丹波地域合同防災訓練実行委員会(構成団体:兵庫県、篠山市、丹波市)

参加機関・団体

兵庫県、篠山市、丹波市、関係市消防機関、自衛隊、近畿地方整備局、兵庫県警察、日本赤十字社兵庫県支部、兵庫県災害医療センター、兵庫県医師会、兵庫県看護協会、兵庫県薬剤師会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫県国際交流協会、兵庫県栄養士会、兵庫県トラック協会、ヤマト運輸(株)、日本レスキュー協会、ライフライン関係機関、兵庫県防士会、篠山市社会福祉協議会、自主防災組織、福知山市等



避難所訓練 (篠山小学校)



合同指揮所 (篠山メイン会場)

倒壊家屋からの救出 (篠山メイン会場)

住民による初期消火訓練 (篠山メイン会場)

知事 ヘリ搬送 (三木総合防災公園)

展示ブース (篠山メイン会場)

土砂埋没車両からの救出 (篠山メイン会場)

道路啓開訓練 (篠山メイン会場)

ペット同行避難訓練 (篠山小学校)

福祉避難所訓練 (丹寿荘)

閉会式 (篠山メイン会場)

外国人支援訓練 知事視察 (篠山小学校)

業務要員訓練 (県庁・災害対策センター)



献花の様子



秋本日本消防協会
会長あいさつ

第三六回全国消防殉職者慰霊祭

記事：(公財) 兵庫県消防協会

第三六回全国消防殉職者慰霊祭が、平成二九年九月一四日、日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救

急活動を行い不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回新たに一五柱の御霊が合祀され、あわせて五、七五二柱が奉納されました。

式典には当県から、岸谷会長、事務局二名が参列し、御霊の奉納が行われ、黙祷を捧げた後、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣、野田総務大臣からの追悼のことばが続ぎ、遺族代表の追悼のことばがありました。

その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌(木遣り)が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。



『第二三回全国女性消防操法大会』に向けて

神戸市灘消防団

私たち神戸市灘消防団には平成一三年四月に初めて女性消防団員一〇名が入団し、現在では一八名が日々活動しています。三〇代から六〇代と年齢は幅広く、ほとんどの女性団員が仕事をもち、子育てや介護、家事の合間をぬって活動しています。



放水

灘消防団では特に男女の役割分担はなく、災害出動からイベント警備や広報活動、地域での訓練参加や救急講習会での応急手当の普及、指導など女性団員も様々な活動をしています。

中でも一番女性団員の力が発揮されているのはやはり救急講習会での指導です。年間六〇回にも及ぶ灘区内の救急講習会は平日実施されることが多いので、女性団員を中心に

に市民救命士養成に努めています。

そんな私たちに新たに加わった目標が「全国女性消防操法大会」への出場です。実は灘消防団の女性団員は入団当初から男性団員と同じくポンプ操法訓練にも参加しておりました。大会などに出場する機会はありませんでしたが、男性団員と同じ小型ポンプやホースを使つての操法で、神戸市の出初式や操法大会で幾度もご披露させていただきました。そのような経験がありましたので、初めて女性消防操法を知った時あまり驚きもなく、逆に使用するポンプの小ささやホースの細さ、筒先の軽さなどに少し物足りなさを感じました。つまり、なめてかかってしまったのです。そしてその甘さは訓練を始めるとすぐに吹っ飛んでしまうことになりました。



操法競技

大会に向けての訓練は昨年一月より本格的にスタートしました。灘消防署消防第一係の指導員が事前に操法をしっかりと研究してくださり、大会までの訓練スケジュールを立て、まずは屋内での規律訓練から始まりました。できているようで全くできていない規律を「規律を正して士気をたかめる！」という合言葉のもとで、基本から徹底的に何回も繰り返し訓練をしました。そして、気候が良くなつてからはいよいよ屋外での訓練が始まりました。各番員が操法の流れを少しずつ掴み、節度を持った規律とスピードアップを目指して現在訓練に努めています。ところが、訓練を重ねれば重ねるほど新たな課題が生まれ簡単にはいきません。毎回焦りやもどかしさで心が押し潰されそうになります。



そんな中、六月には発隊式を執り行い、兵庫県消防協会を始め沢山の来賓の皆様が操法を披露させていただきました。激励の言葉をいただきました。兵庫代表という期待と重責を改めて感じ、選手一人一人が身の引き締まる思いでした。まだまだ未熟な私たちが、大会までにどれだけのことができるのか不安でいっぱいですが、全国大会出場という恵まれた機会に感謝しできる限りの努力をしていきたいと思っています。常に全面的に応援してください。灘消防署長を始め消防署の皆様、灘消防団長を始め本団や団員の皆様、温かい声援を送ってほしい地域の皆様、そして、不便をかけるながらも陰ながら応援してくれる家族のためにも、精一杯訓練に精進し納得のいく成果があげられるように頑張りたいと思います。



第二九回 北播消防ソフトボール大会開催

(優勝) 西脇支部

平成二九年七月九日(日)午前八時から、小野市河合中町の河合運動広場多目的グラウンドにて北播磨地区五市一町の消防団員二二五名が集い、『北播消防ソフトボール大会』が北播消防協議会の主催で開催されました。



開会式(飛田会長あいさつ)

この大会は、北播磨地区の消防団員がソフトボールを通じて親睦を深め、広域災害時の連携強化を図ることを目的に、昭和五四年から操法大会のない年に隔年で実施し、本年度で一九回目を迎えました。



試合の様子(小野支部×西脇支部)

八時四十分第一試合Aコートで蓬萊小野市長が、Bコートは山中小野市議会議長がそれぞれ始球式を行いプレーボール。

試合が始まると、小雨も止み、親睦という名のもとに「和気あいあい」の中にも、やはり市町の代表というプライドをかけ好プレー、場外ホームラン、珍プレーなど白熱したプレーが続出。その度に、相手チームからも拍手喝采の試合展開でした。

第二試合に登場した北播消防協議会チームは、大会当日ぶっつけ本番でチーム結成されたにも関わらず、インニングを追うごとにチームワークが深まり、健闘される姿は、さすが副団長さん達です。見知らぬ皆さんが消防団という名の下で結成されれば所属は違えども志を同じくする消防団員、息もピッタリです。多くの団員を束ねる幹部の意気込みと、災害時に重要な組織力や機動力を垣間見ることができ、消防団ここにありと言っ

小雨の中、午前八時、北播消防協議会飛田会長が観闘台に登壇され、総指揮者である中西三木支部長の指揮のもと、西脇・三木・小野・加西・加東・多可支部の順でそれぞれを代表する選手の前で開会式で大会二連覇中の小野支部、準優勝の三木支部から優勝杯・準優勝盾の返還が行われ、今年はこのチームが優勝杯を獲得するか、決戦の火ぶたが切つて落とされました。試合は、日本ソフトボール

た力強さを感じた一瞬でした。大会は、結果的に西脇支部の圧倒的な強さが際立った大会となりましたが、選手の皆さんは、白熱したプレーで大会を盛り上げていただき、本大会の趣旨である団員相互の親睦も深め、より一層、北播磨地区の絆が強くなったと思います。

そして、一四時にすべての試合が終わり、閉会式を行い無事大会を終了しました。

- 大会結果
- 優勝 西脇支部
 - 準優勝 三木支部
 - 第三位 多可支部

消火活動はもちろんですが、梅雨末期の集中豪雨や台風の襲来。いつ発生するかわからない南海トラフ地震や山崎断層帯地震など、災害への備えと相互の協力を固く誓うことができました。



優勝された西脇支部のみなさん

北播消防協議会について
昭和三〇年に北播磨地区の各市・郡の消防協会が、消防諸活動の向上発展に寄与すること、広域的な連携を図り、スムーズな団運営を行うことを目的に集まり、北播消防協議会が発足しました。

構成市町は、西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町(五市一町)。

主な活動は、隔年実施の操法大会とソフトボール大会、若手消防団員意見交換会、団幹部の交流などの諸行事を通じて団活動の強化を図っています。

救急車の 適正利用キャンペーンの実施

兵庫県下消防長会

平成二八年中の兵庫県内の救急件数は二七万五七六九件(速報値)で前年より七三三三件(二・七%)増加しています。

安易な救急車の利用により、真に緊急性の高い傷病者への対応が遅れないために救急車を正しく使っていただけけるよう、兵庫県下消防長会では、県下一斉救急車適正利用キャンペーンを実施しています。

救急車の適正利用についての皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【実施期間】

平成二九年九月一日(金)から九月十八日(月)

※九月九日救急の日を含む救急医療週間(九月三日～九月九日)に関連して、兵庫県下統一のキャッチコピーとポスターを用いて、救急車の正しい利用方法について理解と認識を深める。

【平成二九年度のキャッチコピー】
『適正利用 守ってつなぐ 命のボタン』

命のボタン』



「住宅防火・防災 キャンペーン」の 実施

～敬老の日に
「火の用心」の
贈り物～



全国の住宅火災による死者数は千人前後の高い水準で推移しており、このうち六五歳以上の高齢者が約七割を占めています。

高齢化の進展とともに、住宅火災による死者のうち高齢者の占める割合が増加していることから、消防庁では、「敬老の日に「火の用心」の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者に火災予防を注意喚起するとともに、高

齢者に住宅用防災機器等をプレゼントすること等呼びかける「住宅防火・防災キャンペーン」を実施しています。この機会に、いざという時に備えて、身近な高齢者に住宅用火災警報器や住宅用消火器、防災品などの住宅用防災機器等をプレゼントされてみてはいかがでしょうか？

実施期間 平成二九年九月一日(金)～九月二日(木)

**住宅防火・防災
キャンペーン**
9月1日(金)～21日(木)

**敬老の日に
「火の用心」の贈り物**

住宅用火災警報器
すべての住宅に設置が必要な住宅用火災警報器。電池切れで万が一の時に作動しなかったということがないよう、定期的に作動確認することが大切です。

住宅用消火器
いざという時に備えて住宅用火災警報器(住宅用火災警報器・住宅用消火器・エアノール式簡易消火器)を身近に備えましょう。

防災品

消防庁

適正利用

**守ってつなぐ
命のボタン**

- 意識がない
- 胸が激しく痛む
- 突然の激しい頭痛

こんな時は迷わず119番!

兵庫県下消防長会
作 イラストレーター有村綾

「第22回防災まちづくり大賞」の募集について

消防庁

【防災まちづくり大賞とは】

阪神・淡路大震災や未曾有の大災害となった東日本大震災等、近年の大規模な災害の教訓を踏まえて、全国各地で防災対策の強化を図るためのさまざまな取組が行われています。防災力の向上を図るためには、防災につながる優れた事業を実施することはもちろんのこと、まちづくりや住民生活等においても防災の視点を盛り込むことが重要であり、防災に関するハード及びソフトの工夫・アイデアが防災対策の充実や防災意識の高揚等に大きく寄与するものです。

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成八年度に創設され、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災・減災に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、もって地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

【スケジュール】

募集締切：平成二九年九月二九日(金)
表彰式：平成三〇年三月上旬(予定)

【応募方法】

「防災まちづくり大賞」をより多くの方々に知っていただき、優れた取組の掘り起こしを図るため、都道府県の推薦による応募のほか、自薦による応募を受け付けます。各地域で結成されている自主防災組織等、小・中学校等の教育機関をはじめ、様々な組織・団体からの応募をお待ちしております。

なお、応募手続きについては、募集要項等

URL:

http://www.fdma.go.jp/html/life/machidukuri_taisyosyosyu/zissi_bosyu.pdf

を参照してください。



防災まちづくり大賞

防災まちづくり大賞シンボルマーク



ホームページのページ説明

このバナーをクリックすると…

右のページが表示されます。「買う」「食べる・飲む」などのジャンルをクリックもしくは市町名をクリックで、事業所の詳しい情報をご覧いただけます。



消防団員応援事業所とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに、地域で活動している消防団員を地域全体で応援する事業です。平成二九年九月一日現在、

三三六件の事業所に登録いただいております。様々な特典やサービスの提供により、消防団活動を盛り上げていただいております。なお、具体的な特典やサー

ビス内容、事業所の情報については、(公財)兵庫県消防協会のホームページ上、消防団員応援事業所のページをご覧ください。

消防団員応援事業所について

(公財) 兵庫県消防協会

URL : <http://www.hyogoshoubou.jp/>

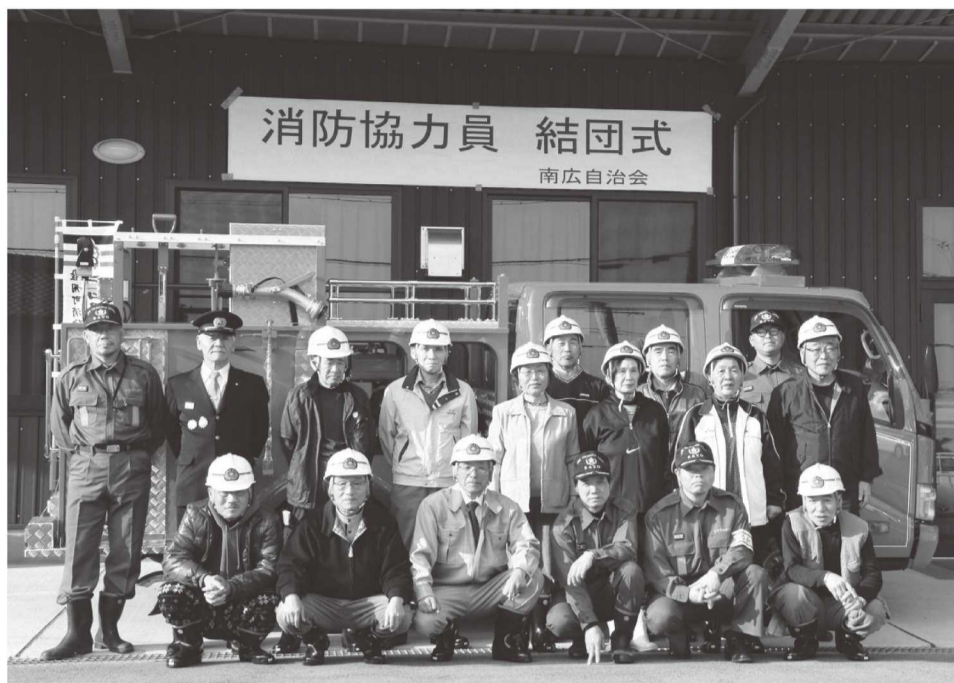
神戸市中央消防団	
ジャンル	食べる・飲む (飲食)
店舗・事業所名	二代目串勝屋
サービス内容	ワンドリンクサービス(日本酒を除く)
対象者	団員カード提示者及び同伴者
所在地	神戸市中央区琴ノ緒町4丁目6-10
電話番号	078-221-1066
営業時間	17:00~24:00 (ラストオーダー23:00)
定休日	日曜日
事業所所在地の管轄消防団	中央消防団

例えば、「食べる・飲む」をクリックすると、左のようなページが表示されます。サービス内容や対象者などを確認いただけます。

※掲載内容
 <事業所所在地の管轄消防団>
 <店舗・事業所名>

- 【篠山市】**
 - 篠山市消防団
 - アイランドフューチャー
 - コーポレーション(株)
 - 舞鶴若狭自動車道 西紀サービスエリア上り線
 - (株)大市住宅産業
 - 手作りケーキの店
 - アリス 篠山インター店
 - 石焼工房 四旬
 - ハタ印房
 - (株)森田石材店
 - 水刺間(スラッカン)・チヂミ家
 - 鳳鳴酒造
 - ほろ酔い城下蔵
 - こんだ薬師温泉
 - ぬくもりの郷
 - ワークショップオオツキ
 - 丹南店
 - 韓国家庭料理
 - 舎廊房(サラムバン)
 - ピア・パブ サラムバン
 - 澤商会
 - (株)中井工務店
 - 広瀬豊店
 - 永井理容
 - 木戸瓦店
 - 石井造園緑化(株)
 - さかべ建築
 - 手づくり とうふの家
 - ユニットピアささやま
 - おおやま自動車
 - 杉原豊店
 - 水口左官店
 - 光オート・サービス
 - フルマインド(株)
 - 篠山食料品店
 - TRY S (株)
 - (株)阪本屋
 - あすか農房
 - (有)小西のパン
 - 奥栄
 - 食工房 楽郷
 - 郷の屋 楽車
 - 膳所 丹南茶寮
 - 小多田屋
 - 長沢住宅設備(株)
- 【淡路市】**
 - 淡路市消防団
 - ラウンジ 独楽
 - せきれいの里
 - オレンヂ
 - 酒井石油店
 - (株)藤澤石油店
 - (有)小山石油店
 - 一宮石油店
 - 淡路アポロ石油(株)
 - 一宮オイル(有)
 - 西岡石油店
 - ミエレ
 - カフェ・スコラ
 - リストランテ・スコラ
 - 北淡震災記念公園
 - (株)オールジャパンオイル
 - (株)檜岡石油
 - 山本産業(株)
 - 高田石油店
 - 酒のKAWANO
 - 宮本電気(有)
 - (株)川越
 - 夜来香
 - 正司石油(株)
 - 下木家
- 【洲本市】**
 - 洲本市消防団
 - タンミダイニング園
 - BikeShop Black Beans
 - 丹波篠山溪谷の森公園
 - 丹波猪村
 - 丹波田中畜産(株)
 - 牛屋 たなか
 - マツダオートザム篠山
 - 総合看板 フクニシ芸芸
 - 遊食友酒 はまゆう
 - 結工務店
 - 農家レストラン
 - あかじやが舎
 - カラオケボックス
 - 歌里坊
 - Anitya
 - (あにとや)
 - たにしき塗装
 - (有)山内水道店
- 【丹波市】**
 - 丹波市消防団
 - (有)岩澤繊維
 - (株)橋本電設
 - スポーツ事業部 ピュアスポーツ柏原
 - カラオケボックス歌里坊(ウリボウ)
 - 丹波市立丹波悠遊の森
 - 赤ちようちん しげ
 - 宝来堂
 - いづも庵
 - あわじ和牛亭
 - (有)肉のよしおか
 - パルシェ 香りの湯
 - 藤本水産(株)
 - 保地味噌醸造所
 - Members 紫乃
 - セレモニーホールなごみ道の駅あわじ 海峡楼
 - 森本商店
 - 長松旅館
- 【南あわじ市】**
 - 南あわじ市消防団
 - セントラル商事
 - みなと観光バス(株)
 - わかばやしメディアカルカイロ
- 【豊岡市】**
 - 豊岡市但東消防団
 - ON THE ROAD





消防協力員結団式

緑に包まれた山々が連なり、星空や棚田の景色が美しく広がります。四季を運ぶ風、清流の千種川の水音、ひまわりなどの草花の香りがする佐用町。兵庫県西部の西播磨地域に位置する、人口約一万七千人の町です。

佐用町消防団は、団本部と四二分団から構成され、団長以下九五八名の団員が、火

『新たな佐用町消防団を目指して』

佐用町消防団

消防団ピックアップ

Pick up!

災・水害・その他の災害への対応、さらに防火啓発、警戒・パトロール、防災訓練の指導など、年間を通じて様々な活動に従事しています。

平成一八年四月一日に新佐用町消防団が発足し、一一年が経過。この間団員は一〇年で一六二名の減。また、年齢構成は、三〇代以上が八三パーセントを占めるなど、団

員の高齢化が進み、一〇年後を見据えた団員の確保、組織の再編が課題になっています。

このような状況のなか、今後の課題を検討するため組織再編部会及び組織充実強化部会を、平成二

七年度に立ち上げ、現在も「新たな佐用町消防団を目指して」協議を継続しています。

■主な協議内容

◆団員確保対策

人口減少及び若者の都市部への流出により、年々消防団員が減少すると予想されています。このような状況のなか、団員の確保は困難であることから「消防協力員制度」を平成二

八年四月一日から実施し、現在一六二名の方が登録されています。登録者の方には、消防団が到着するまでの初期消

火や消防団員が少ない場合の後方支援をお願いしています。あくまでボランティア活動として、報酬・出動手当はありません。

◆消防車両の更新計画

消防自動車七台、小型ポンプ付積載車五〇台、指令車一台、活動車二台を有しています。

◆今後老朽化に伴い、消防自動車二〇年、積載車二五年を基準に更新。また、一分団二台以上保有している車両は、原則更新しないなどを盛り込んだ計画を作成。今後は、応援体制の見直しを行い、地域消防力が低下しないよう維持していきます。

◆装備の充実

水害や地震などあらゆる災



消防訓練場で放水訓練

害に対応するため、消防団の装備の充実が急務となっています。

◆ポンプ点検及び訓練

消防ポンプ等操作訓練を、五月から六月にかけて、新たに完成した消防訓練場で実施しました。訓練には、全分団が参加し、若い団員を中心に放水訓練や中継訓練を行いました。今後はこの訓練会場で水出し操作訓練や大会を予定しています。

◆婚活イベント

人口減少に悩む佐用町と消防団がタイアップして、婚活イベントを年二回開催する予定です。消防団員の約三割が独身。町では、これを機に佐用町に定住していただき、消防団員と「安全・安心な町を一緒に築いてほしい」と願っています。

がんばってます、女性消防団員

『川西市消防団第二一分団「チェリーファイアー」活躍中!!』

川西市消防団

川西市消防団第一一分団は平成五年に女性消防団員の分団として組織され、現在一九名で活動しています。愛称の「チェリーファイアー」は川西市木の「桜」にちなんで名付けられました。主な活動は、各種イベントや自治会などでの防火・防災の啓発活動、救命講習会での指導、春・秋の火災予防週間中の消火訓練への参加、猪名川花火大会や一庫ダム周遊マラソン大会、年末特別警戒での警備などです。

◆発足してから二〇年以上経ちましたが、まだまだ女性消防団員の活動について知らない方もいるのではと考え、昨年、市役所の広報担当の協力により消防団の紹介、加入促進PR動画を市ホームページ上に掲載しました。また、市内

の行事に積極的に参加し、大勢の方に女性消防団の活動に興味を持ってもらい、結果として入団者が増えることを期待しています。

◆また、団員自身のスキルアップも重要と考えており、昨年はこれまで男性団員のみで行われていた消防操法大会に挑戦しました。六月に行われた県女性消防団員活性化大会で活動内容等の発表を行いました。他市町の事例発表や啓発劇も今後の活動の参考にしたいと考えています。

◆今後は、女性ならではのソフトさを活かして、よりきめ細やかな防火防災に関わる指導を行い、安全安心のまちづくりに貢献できるように努めていきたいと思っています。



防火啓発活動の様子



マラソン大会で応援しながらAEDを片手に万一の事態に備えます

わが町の団長さん

「信頼される消防団を 目指して」

神戸市垂水消防団

中西 政嗣



神戸市垂水消防団は、昭和三年に明石郡垂水町垂水消防組として発足し、昭和一四年の消防団令公布に伴い明石郡垂水町垂水消防団に、昭和二二年の消防団令公布により垂水消防団から垂水消防団に名称が変わりました。

昭和四九年の西神消防署開設に伴い、垂水区にあった八消防団のうち、七消防団が西神消防署の管轄になり、昭和五七年の西区の分区に伴い、垂水区内には一消防団八分団となりました。平成二七年四月には垂水北分団が新設され、九分団、消防車両八台、一七〇名の消防団員が活動しています。

中西団長は、昭和五三年に名谷分団に入団され、現在の垂水消防団の中でもっともベテランの消防団員です。分団の役員を経て、平成一九年に副団長、平成二八年からは第八代の垂水消防団長に就任されました。訓練や火災時の活動以外にも、公益財団法人兵庫県消防協会が行っている応援事業所の広報のため、中西団長自ら垂水区内の事業所等に説明に赴き、数店舗が登録

していただけることとなりました。また、消防団活動以外にも民生委員や青少年育成協議会の名谷支部長を務めるなど、地域活動の推進にもご尽力されています。

団長就任時、「地域行事や訓練に積極的に取り組んでいき、消防署との連携を密にし、区民に信頼される消防団を目指したい。」と挨拶されていたとおり、何事にも積極的に取り組まれる団長です。

「温厚篤実な 頼れる団長」

神戸市西消防団

高尾 淳



本業の農場指導員として農業の普及に努めながら、西消防団長として多くの会議や行事に出席されており、口癖が「忙しいねん」になっている高尾団長ですが、西区民約二四万人の安心安全のためにこれからも日々奮闘されることと思います。

「私たちの町は、 私たちで守る」

神戸市兵庫消防団

大崎 文雄



神戸市兵庫区は、港の町、その昔、外交の窓口として歴

史に名をとどめ、日米貿易の拠点となり、福原には、一時、都を置き、政治の中心地となりました。また、映画館、演芸場、寄席などが並ぶ新開地は、「東の浅草」「西の新開地」と、戦前戦後の大衆芸能、大衆文化の発信拠点として、中心的な役割を果たしていました。神戸市兵庫消防団は、本団、六分団の構成により、団員数百三十八名(条例定員数一五

〇)内、女性団員一二名で、人口一〇万六四八〇人の生命と財産を守るために、消防団の責務を全うする基本はまずもって厳正な規律、統制ある行動であるとの信念に基づき市民の生命と安全を守る活動をしています。その陣頭指揮を行っているのが、我が、兵庫消防団、大崎団長です。昭和五三年十二月に、神戸市兵庫消防団に、入団され、

分団長、副団長を歴任後、平成二八年四月一日、団長に就任されました。時代に応じた災害に対応できる訓練内容を取り入れられたり、新たな時代にあつた装備品の配備にも、力を入れられております。特に、サラリーマン団員化の対応として、女性団員増員及び、災害現場での指揮所運用を行うことにより、手薄のカバーを行い、また、幼児向けの防災教室も女性団

員を中心として実施されています。その実績等を認められ、平成二八年一月一五日栄えある藍綬褒章を受章されました。消防団員を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。が、兵庫区民の財産と生命を守るために、使命感を持ち、これからも、陣頭指揮にたち、市民の財産、生命を守り、団員の教育等にも、益々、期待が寄せられているところです。

われら若手消防団員

～消防団に入団して～



加西市消防団 第九分団 第一部 田谷班 民輪 晴紀

私が消防団に入団したのは、今から一年半前のことです。「この地域で生きていく」と心に決め、先輩から誘われていた消防団への入団を決めました。しかし実際には、消防団といっても、どういったことをすればよいのかよく分かっておらず、仕事と両立していきけるのかも不安でした。入団してからは、先輩方に教えていただきながら、放水訓練や夜警などの活動を経験し、その中で、地域の方々との関わりもたくさんありました。そんな風に温かく支えられ、最初に感じていた不安も次第になくなり、「この地域に貢献したい」という気持ちが溢れてきました。

入団して一年が経った頃、「今年度の礼式大会出へんか」とお誘いがありました。大会に向けた練習が始まった頃は、「毎日この練習が続くのか」という弱気な気持ちや疲れがありました。しかし、サポートしてくださる先輩方や一緒に訓練に参加している仲間達に支えられ、いつしか「協力し合って頑張ろう」という気持ちに変わっていました。先輩方に細かい部分を指摘していただいたり、仲間同士で声を掛け合ったりして、日に日に上達していく達成感や、チームの団結力を感じることができました。礼式大会本番では、練習の成果を発揮することができ、優勝することができました。この大会を通じて、より消防団員の結束も深まり、一つ一つの動きにも機敏さが備わったように感じます。



礼式大会記念写真 第九分団優勝



礼式大会風景 (第九分団)

地域のお知らせ

南あわじ市

休日は南あわじ市へ

南あわじ市は、兵庫県最南端に位置し、一年を通じて比較的温暖な気候であり、農業・漁業が盛んで食材が豊富です。

二つ目はそれぞれの銅鐸の中には鳴らすための棒(舌)が入っていて、合計七本見つかりました。

三つ目は舌には吊り下げられるための植物で作ったヒモが残っていて、銅鐸の原料である銅の防錆作用が働いて、腐らず残ったと考

今回は、松帆銅鐸の大発見をいくつか紹介いたします。

一つ目は七個の銅鐸のうち、一個が全国でも一例しか発見されていない最古級の菱環鈕式という形の銅鐸でした。

銅鐸は農耕のお祭りに使用した道具と考えられています。はじめは風鈴のように吊り下げて鳴らしていま

したが、新しくなるにつれて飾りも増えて大きくなり、見るための祭りの道具に変化していったと考えられます。

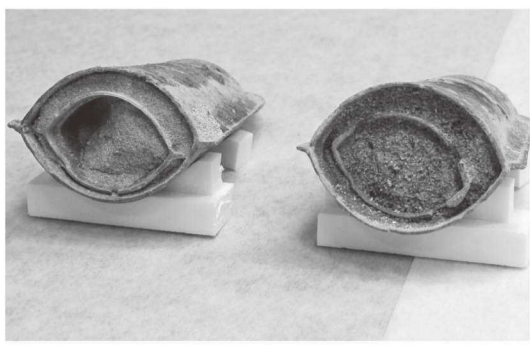
現在調査中ではありますが、四号銅鐸の内面に付いていた植物片から紀元前四世紀から紀元前二世紀(二三〇〇年から二一〇〇年前)に埋められたことがわかりました。

淡路島は食材豊かな島だけでなく、青銅器の島・国生みの島、淡路島!今回は地域のお知らせは古代のロマンに触れてみました。

播磨町は明治二二年四月一日以来七〇余年の永きにわたり親しまれてきた兵庫県下で最後の村「阿閉村」から、昭和三七年四月一日をもって町制を施行し、このたび五周年を迎えました。

古き時代より、瀬戸内に面した穏やかな地域であり、日本で初めて新聞を発行した新聞の父「ジョセフ・ヒコ」や、新井を開拓し豊かな恵みをおの地にもたらした「今里傳兵衛」などを輩出しました。

約五〇年前には激しい合併論争が村を二分した時もありましたが、その論争に終止符が打たれた時、住民の声として起こってきたのが、村名の変更と町制の施行でした。急激に発展する播磨臨海工業地帯の重要な一角を占める播磨町が、独自の道を歩むためにふさわしい名前との願いから「阿閉村」から「播磨町」に



銅鐸の中に銅鐸



舌



集合写真



一号から七号銅鐸

町制施行五五周年をむかえました

播磨町



播磨町 町制施行五五周年記念式典の様子

変更し、町制を実施しました。

当時の人口は、九、三六三人で行政区域の面積もわずか六平方キロメートルと兵庫県下で一番小さな面積でした。その後、昭和四七年三月に人口島である新島が、また昭和五〇年八月には東新島が埋立てを完了し、海岸部に大規模な工業団地が誕生し、町域も九・一三平方キロメートルとなりました。

また、町制施行と同じ年に発見された弥生式住居跡が多く存在する大遺跡は、国指定の史跡となっています。ひょうごを代表する弥生時代の集落遺跡で、兵庫県立考古博物館や町立の郷土資料館も建設されています。

兵庫県立考古博物館には、数千年にわたり使われ続けた土器、獲物を追った旧石器人、森に生きた縄文人、土地を拓いた弥生人などが展示されています。博物館・資料館の隣には史跡公園「播磨大遺跡の村」がひろがっていて、復元された住居跡に入り、本物の遺跡に身を置いて、弥生人たちのふれあいを楽しむことができます。

また、周辺には、野添北公園や野添あい公園があり、喜瀬川などともに自然に親しめる緑豊かな憩いの空間が広がっています。ここで、四月に「風薫るフェスタ」、一月には「大遺跡まつり」が開催され、多くの人でにぎわっています。

町内にはJR「土山駅」と山陽電鉄「播磨町駅」があり、土山駅からは、「であいの道」が、播磨町駅からは喜瀬川沿いに、歩道が大遺跡まで整備されていますので、皆さんぜひ、「播磨町」を歩いてみてください。

播磨町は明治二二年四月一日以来七〇余年の永きにわたり親しまれてきた兵庫県下で最後の村「阿閉村」から、昭和三七年四月一日をもって町制を施行し、このたび五周年を迎えました。

古き時代より、瀬戸内に面した穏やかな地域であり、日本で初めて新聞を発行した新聞の父「ジョセフ・ヒコ」や、新井を開拓し豊かな恵みをおの地にもたらした「今里傳兵衛」などを輩出しました。

約五〇年前には激しい合併論争が村を二分した時もありましたが、その論争に終止符が打たれた時、住民の声として起こってきたのが、村名の変更と町制の施行でした。急激に発展する播磨臨海工業地帯の重要な一角を占める播磨町が、独自の道を歩むためにふさわしい名前との願いから「阿閉村」から「播磨町」に



大遺跡の住居跡

【お詫びと訂正】

兵庫消防平成二九年七月一五日発行第六七一号の「がんばってます、女性消防団員」の記事(七面)において、「淡河シヨーカーキー」の写真の題名が、「洲本arukankaで消防団ブースを設置しました」となっていました。正しくは「淡河町ふるさと祭りにて」でした。訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

朝夕は暑さがやわらぎ、過ごしやす季節がやってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号の一面では、九月三日(日)に開催しました兵庫県総合防災訓練について掲載しています。

当日は多くの方にご参加いただき、充実した訓練を開催することができました。皆様のご支援、誠にありがとうございました。また、開催にあたっては丹波地区の皆様をはじめ、たくさんの方のご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

また、今月号紙面作成にあたり各地区から多数の寄稿をいただきました。誠にありがとうございました。

夏の疲れが出やすい時期ですので、体調管理には十分にお気をつけください。

これから台風シーズンが到来し、消防団員の皆様が出動される機会が増えることと思います。活動時には自己の安全管理に努め、事故等にはくれぐれもご注意ください。

